

食味と高温登熟性が優れる水稲極早生品種 ‘よさ恋美人’

育成の背景

高知県における水稲の1等米比率は、2004年以降、1～2割で推移しており、全国平均(約8割)を大きく下回っています。この要因の一つに、夏期高温で多発する白未熟粒の混入があげられます。このことから、2003年に高知県農業技術センターにおいて、‘ふさおとめ’ (母本)と‘コシヒカリ’ (父本)を人工交配し、2017年に食味と高温登熟性が優れる水稲極早生品種 ‘よさ恋美人’ を育成しました。



写真2 玄米の比較(左：よさ恋美人、右：コシヒカリ)

品種の主特性

- ‘コシヒカリ’と比較して、
- ・ 出穂期、成熟期は8日程度早い。
 - ・ 稈長は7cm短く、穂数は同程度。
 - ・ 耐倒伏性は「中」でやや強い。
 - ・ 収量性は対比98でほぼ同程度。
 - ・ 千粒重は1.5g程度重い。
 - ・ いもち抵抗性は弱～極弱。
 - ・ 穂ばらみ期の耐冷性は「中」。
 - ・ 玄米タンパク質含有率は同程度。
 - ・ 外観品質は良好で、高温登熟性は「強」で優れる。



写真1 草姿の比較「よさ恋美人」(高育76号)

表 ‘よさ恋美人’の早晩性、生育収量、諸特性、品質および高温登熟性

品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 (0～5)	収量 (kg/10a)	玄米千粒重 (g)	いもち抵抗性		障害型耐冷性	タンパク質含有率 (%)	外観品質 (1-9)	白未熟粒割合 (%)	高温登熟性
								葉	穂					
よさ恋美人	6/22	7/26	72	410	中	542	23.4	極弱	弱	中	6.80	2.3	21.3	強
(比較)コシヒカリ	6/30	8/ 3	79	391	弱	555	21.9	極弱	弱	強	6.60	4.7	31.4	中

注) 奨励品種決定調査本調査標肥栽培の3カ年(2012～2014年)平均値。移植日は4月10日を基準日。耐倒伏性、耐冷性および耐病性は極強～極弱で評価。タンパク質含有率は近赤外分析計(NIRFlex-500)により玄米を分析した値。玄米品質は1～3が1等、4～6が2等、7～8が3等、9が規格外。白未熟粒割合は穀粒判別器RGQI 10A(サタケ社製)で調査。高温登熟性は圃場における高温下(登熟気温27.5℃)での白未熟粒の発生程度により強～弱で評価。

‘よさ恋美人’は2017年6月に高知県水稲奨励品種に採用され、段階的に作付けを拡大して2023年には1,000ha普及の予定です。なお、‘よさ恋美人’は「夏の暑さに負けない美しい米粒は、よさこいの踊り子たちとイメージが重なる」ことから名付けられました。